

健康

子どものころからむし歯を予防しましょう

昔から、「歯は健康のバロメーター」として全身の健康状態を示すと言われていました。

子どものころにむし歯になると、大人になってもむし歯になりやすく、うまく噛めなくなるため、栄養を十分に取ることができなくなります。

私たちの体の中で、歯はとても大切なものであり、充実した生活には健康な歯が欠かせません。

小学6年生のむし歯は減少

市では、35年以上前から、幼児や児童、生徒の「フッ化物洗口（フッ素を用いたうがいによる、歯の表面にフッ化物をつけてむし歯を予防する方法）」を始め、現在

6年生一人当たりの平均むし歯本数

	牧之原市	静岡県
平成17年	1.1	1.1
18年	1.36	1.04
19年	0.79	0.92
20年	0.7	0.8
21年	0.6	0.76
22年	0.57	0.69
23年	0.4	0.66
24年	0.39	0.59

*17年は合併後の数値

市内全ての幼稚園、保育園、小学校で行っています。ジェル状のフッ素を歯の表面につけて乳幼児の歯を強くする「フッ化物塗布」も15年以上前から行っています。このようなことから、小学校6年生の一人当たりの永久歯の平均むし歯本数は、県平均を下回り毎年減少しています。しかし、幼少期からのむし歯予防は、重要なため、保護者のむし歯予防に対する意識の向上が求められています。

むし歯はどうしてできるの

むし歯は、「①甘い食べ物・飲み物 ②質の弱い歯 ③むし歯菌の数」が重なった状態が続くと、次第に進行していきます。

また、大人の歯（永久歯）と比べて子どもの歯（乳歯）は、表面が軟らかいため、むし歯になりやすく、その進行もとても速いのが特徴です。また、乳歯も永久歯も生えてきたばかりの歯は未成熟のため、むし歯になりやすいです。

家庭で子どもの歯を守る

フッ化物塗布やフッ化物洗口だ

問い合わせ 健康推進課 内藤 ☎(23) 0027



フッ化物塗布で歯を強く

③気になる症状は、すぐに受診

子どもの歯はむし歯の進行が速いので、ひどくなる前に早めに歯科医院を受診しましょう。歯科医院では、むし歯の治療以外にも、歯みがきの仕方や食事指導、子どもの歯の状態にあったきめ細かいアドバイスを受けることができます。むし歯がなくても、定期的な受診することが大切です。

④強い歯をつくる

4歳までの子どもは、市で行っているフッ化物塗布、4歳以上は、園や学校でのフッ化物洗口をして、歯を強くしましょう。また、フッ化物入りの歯みがき剤を利用して、歯磨きを行いましょう。市の子どもたちの大切な歯を各家庭で、社会で守りましょう。

景観

第3回「まきのはら景観写真」景観賞が決定
 市内の魅力をもっと共有しよう

問い合わせ 都市計画課 元水 ☎(53) 2633

市内には、県内外に誇れる牧之原大茶園や豊かな海岸線、さらに、世界文化遺産に登録された富士山の眺望など、後世に残すべく優れた景観が豊富にあります。

「まきのはら景観写真」景観賞

多くの市民の皆さんに市の豊かな景観を知ってもらおうと、昨年8月から11月まで、第3回目の「まきのはら景観写真」を募集しました。合計28点の作品が集まり、審査の結果、最高賞である景観賞1点、準景観賞2点が決まりました。



景観賞に選ばれた「かかし祭り」

第3回「まきのはら景観写真」審査結果

- 景観賞 「かかし祭り」 村田志津江さん (細江)
- 準景観賞 「若者の海」 久保田和夫さん (細江)
- 「茶畑の風景」 谷澤賢司さん (細江)
- 観光協会賞 「休日を楽しむ」 増田操さん (地頭方)
- 商工会賞 「夏の日の出」 八木光次さん (落居)

景観写真展(期間・会場) *時間:午前8時15分~午後5時
 平成26年3月10日(日)~3月20日(日) 相良庁舎1階ロビー
 3月26日(日)~3月31日(日) さざんか1階ふれあいホール
 *さざんかでは市文化協会榛原写真部による季節の写真も同時展示。

計画

第2回NEXTまきのはらが開催されました
 今後牧之原市が重点的に取り組むことを議論

問い合わせ 企画課 本間 ☎(23) 0040

新たな総合計画を策定するため
 の市民会議「NEXTまきのはら」
 第2回会議が1月21日に、市役所
 榛原庁舎で開催されました。

重点的に取り組むことを議論

第1回では、これまでの意見などをまとめた「市民討議資料」の説明とおして、メンバーが市の現状や分野別の意見の傾向などを把握しました。

今回は、今後牧之原市が重点的に取り組むことについて、話し合いをしました。
 話し合いの結果、メンバーが考える「牧之原市が重点的に取り組むこと」は次のとおりです。

計画の中で重点的に取り組むこと

順位	項目
1	発展的な土地利用
1	子育て・教育環境の充実
3	若者が暮らしやすい環境の整備
4	防災対策
5	魅力の創造と発信の強化
5	新エネルギーの推進
7	超高齢化社会の対応
7	企業誘致・労働雇用
9	公共施設のあり方

上位に選ばれた意見の理由

- 「発展的な土地利用」
 ・空港や新幹線新駅を活かして、新しいまちづくりをするべき。
- 沿岸部の人口が減少しているため、定住人口を増やし暮らしやすい安心な住宅地をつくる。 など
- 「子育て・教育環境の充実」
 ・未来をつくる子どもたちの教育を充実すべき。
 ・子育てと仕事を両立しやすい仕組みをつくる。 など

●有識者からのアドバイス

(永田奈央美、静岡産業大学講師)
 市政に関連する施策について、全体的な角度から考えると、さらに良くなる。

●メンバーの感想(抜粋)

課題は多いが、自分たちが中心になり市のことを考えていきたい。
 *今回は、今回の内容に専門家などの意見を加えて、重点的に取り組むことと、その方向性についてまとめていきます。
 日時 2月18日(日) 午後1時30分
 午後4時30分
 会場 相良庁舎4階大会議室